

2 弥生地区

18 本一相生町会

歴代会長

初代	溝口 秀若	四代	飛田 豊次郎	七代	内田 一雄	十代	小平 一位
二代	溝口 秀和	五代	中村 鎌吉	八代	中村 茂夫	十一代	畔地 秀明
三代	木原 春若	六代	落合 藤直	九代	北田 武夫		

現役員

会長	大野 俊光	副会長	出井 良輔
副会長	小関 敏彦	副会長	中村 佐枝子
副会長	山村 敏夫	副会長	作野 言恵

私達の町の町域は、その昔は武蔵の国豊玉郡本郷村と呼ばれた一角で、明治 22 年に本郷村が中野村に併合されて中野村大字本郷となってから「中野」という地名に親しんでおり、その後の町村合併等に伴って数度の地番改正が行われ、現在では「中野区本町一丁目」と表記される地域の大部分です。

地理的には、北に向かって左に山手通り、右に神田川があり、この二つに挟まれて中野長者橋を基点として南から北東方面へ扇状に広がって町が存在し、南側の低地と北側の台地とに二分されている地形の中に約 1,700 世帯が暮らしています。

町会名の由来

今から 100 年前頃の大正期の神田川は、左右に大きく蛇行しており、川を渡る橋の数も当町域付近には成願寺橋(塔鐘橋)と淀橋の僅か二橋しかなく、町の人々には大変不便でした。

大正 12 年 12 月に神田川旧川筋の淀橋から上流約 300m の地点に当時の地名で中野町大字本郷字塔屋敷(現本町一丁目内)と対岸の淀橋町大字角管字長町(現西新宿五丁目内)を結ぶ新しい橋が架けられ、両町がお互いに仲良く発展するように、縁起の良い名前の「相生橋」と命名され、人々の往来は楽になりました。(現在の相生橋は、昭和初期の河川改修により当時より東側に約 100m 移動しています)

昭和 6 年 1 月 1 日をもって中野町全域において地番の改正が大々的になされ、私達の町名は上記の淀橋町との境界に架かっている相生橋の「相生」を採って「相生町」が誕生し、隣町の東郷町と共同で町会を結成、その会名を二町の頭文字を採って「相東町会」と命名して地域活動を始めました。

その後、昭和 13 年に町会基準の統一があり、お互いに分離独立をして、当町会は町名の相生を採用して「相生町会」が誕生、初代会長として溝口 秀若氏が就任し、以後の会長は標記の通りです。

昭和 42 年に再び地番改正が全域にあり、私たちの町域を含む中野長者橋から山手通りと神田川に挟まれた青梅街道までが「中野区本町一丁目」と表示されることになりましたので、我が町の人達ば慣れ親しんだ旧町名が消えることを惜しみ、本町一丁目の略称の本一を旧町会名の上につけ、現在の町会名である「本一相生町会」が発足しました。

町会活動と法人化

昭和 13 年の相生町会発足以来、平成 29 年までの通算 79 年という長い歳月を、諸先輩方のご尽力を受け継ぎ「明朗にして健全な地域社会を維持及び形成する」目的のために今後も頑張って町会活動を行っていく所存です。

平成 17 年 11 月 21 日付けで中野区より「地縁による団体の法人」としての認可を得て、規約を法人化に合わせて改定し、法人格を持つ町会として地域活動に励んでいる昨今です。



超高层ビルに囲まれ「人情下町」の様相の町内